



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答
国民健康保険について

Q 国民健康保険は平成30年度から県が保険者になる新たな制度がスタートし、被保険者の保険料の金額は、今までより1世帯平均で約1万5,000円引き下げになる。しかし、ゼロ歳児にも係る^{*}均等割においては1人につき合計で2,400円の値上げになる。この影響で全体の保険料が下がるにもかかわらず、2.8%の世帯が値上げになってしまったため、どうしても市独自の軽減措置が必要であると思う。多子均等割減免等を実施している自治体も出てきている。本市でも実施すべきではないか。

A 健康医療部長

多子均等割の減免については、平成30年度以降の国民健康保険制度において、子供の被保険者数に応じた財政支援の拡大が予定されていることから、この施策の趣旨を踏まえた対応を検討してまいりたいと考えています。

その他の質問

☆子育て世帯の経済的な負担軽減について
☆第2次佐野市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)について

※均等割・・・国民健康保険の標準保険料率は①所得割②均等割③平等割の3方式で算定されます。均等割は世帯当たりの国民健康保険加入者の人数に応じて均等に負担する金額のこと。



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
今後の保育園整備と子育て支援について

Q 現在保育施設などに入れない待機児童や保留児童の問題解消策は国を挙げて行っている状況だが、自宅で子育て中の保護者には助成がない。こどもの街宣言をしている佐野市が率先して取り組むべきと考えるが、当局の考え方を聞きたい。

A こども福祉部長

待機児童解消を進めていますが、多様な働き方や子育ての要望に対応するため、親子が交流し、子育て相談などを行う地域子育て支援拠点事業を保育所など7カ所で実施しています。このほかにもこどもの国や児童館など、数多くの子育て支援の場を提供しており、より多くの方がこれらの子育てサービスを利用されますよう、子育て情報誌を作成し、こども課窓口や保健センターで配布しています。

その他の質問

☆中小企業・小規模事業者への支援について



▲ 佐野市こどもの国



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
豊かな心を育み、学び合うまちづくりについて

Q 平成17年3月の調査結果以来、11年間全国平均を下回っていた児童の学力が平成29年度全国学力・学習状況調査結果で全国平均を上回ったという大変喜ばしい報告を聞いた。小学生、中学生の教科ごとの結果を伺いたい。

また、各学校の努力と教育委員会の取り組み、今後の施策についても伺いたい。

A 教育長

小学校6年生は国語A、国語B、算数Aが全国の平均を上回り、算数Bが同程度、中学校3年生は国語A、国語Bが全国とほぼ同程度、数学A、数学Bが下回るという結果で、全体として底上げが図られてきています。

学校では「一校一改革・一挑戦」をお願いし、教育委員会では指導主事や学校教育指導員、学校適正配置推進員が学校を訪問し、継続的に学力向上に向けての支援を行っています。また、来年度からは英語教育の充実にも取り組んでまいります。

その他の質問

☆快適により安全で安心して暮らせるまちづくりについて

